

# 今月のプレゼント

アンケートに答えると、抽選でプレゼントが当たります。

詳細は、ホームページで ID 30350

## あさぴー アクリルスタンド (全5種類)

市民祭でも大人気だった、アクリルスタンドのコンプリートセット! カプセルトイで販売しているため、全種類を一気にゲットできるのはこの機会だけ!

抽選  
2名様



## 広報おわりあさひアンケート

- ①今月号で良かった内容を教えてください。
- ②取り上げてほしい内容を教えてください。
- ③その他、広報誌に関するご意見  
をお聞かせください。

(応募方法) 2/16(月) 締め切り

①～③の答え、氏名・ふりがな、住所、電話番号、年齢を記入し、ハガキ(必着)、メールか右記二次元コードで

応募  
フォーム▶

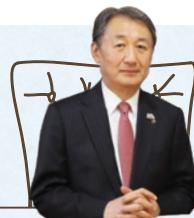


メール:kouhou@city.owariasahi.lg.jp  
郵送先:〒488-8666 (住所不要) 広報戦略課

当選者のかたには、メールなどでお知らせ。プレゼントの受け渡しは、尾張旭まち案内で行います。

尾張旭まち案内 グリーンシティビル1階

10:00～18:00 定休日:木曜日(祝・休日を除く)



M A Y O R S H I B A T A C O L U M N

ID 34636

柴田市長  
コラム

## 足下に泉あり!

vol.33

### ご縁の不思議



昨年同様、今年のお正月を平穏に迎えることができました。

念頭に浮かぶのは、やはり一昨年の元日に発災した能登半島地震です。ご存じのように、本市は輪島市と災害協定を結んでいるご縁があり、独自の募金活動や支援物資の提供、市民祭での相互参加など、息長く交流を続けてきました。

そして、昨年10月からは半年間、嬉しいことに前年に続き、職員の中長期派遣が叶いました。今回は、女性職員が自ら手を挙げてくれました。彼女はもともと珠洲市の出身で、震災を契機に公共の仕事に就く決心をし、民間から本市に転職してくれた経歴で、まさに打ってつけの人材です。現地では深刻な住民流出が続いている中、市職員の確保も極めて厳しい状況にあります。特に、女性住民からの相談では、女性の担当を要望される案件も多く、現地は大歓迎、当人も志高く元気に活躍中です。

昨年11月12日、彼女の激励を兼ね、震災後、3度目となる輪島の坂口市長を表敬訪問いたしました。想像もできない激務と拝察しますが、精力的に飛び

回っておられるとのことで、まずは安心しました。

実は、私と坂口さんは、生年月日が同じなのです。誕生日が同じ人は過去に出会ったことがあります、生まれ年まで一緒にいる方は初めてで、まずは、不思議なご縁の第1です。

今回の訪問に当たっては、何か新たな取組ができるのか、やはり未来を託す子どもたちの交流の一環と考え、現状を調べてみました。輪島市は、分校を除き小学校が9校、中学校3校です。同市の統計上の人口は本市の4分の1、面積は20倍と様相は大きく違うのに、学校数が本市とぴったり同じなのです。何という偶然、不思議の第2!

早速、各校1対1の相対交流を提案し、ご賛同いただきました。まずは、本市の子どもたちが輪島の子どもたちに寄り添うことからスタートです。どのように育つか、今後の展開が楽しみです。それにしても、不思議です。



▲本市の子どもたちのメッセージを坂口輪島市長に直接手渡しました。